

会社情報

【会社概要】

- ・ 関東で金属部品製造をメインとする製造業
- ・ 役員3名、社員40名、パート15名
- ・ 当期首より役員が2名増えている。
- ・ 社長は「売上アップ」を常に考えており、その為の投資は積極的にしていく方針だが、財務に対してはあまり考えていない。
- ・ コロナの影響は受けておらず、昨年の一時的な業績低迷は一部得意先との受注量が一時的に減ったため。現在ではもとの受注量に戻っている。

【前提条件】

- ・ 当問題における法人税等の税率は全て35%として計算する事。

【その他の事項】 ※問題とは直接関係ありません

- ・ 昨年、M&Aにより同業種の中小企業を購入した。
子会社株式があるのはその為である。

中級問題

問1. 社長より、「現在、来期の利益計画を作成しているのだが、売上アップの為、金融機関から満額借入をして新規設備(機械装置)の導入を検討している。現在の返済額に新規設備融資の返済額が追加される場合、今のキャッシュを減らさないようにするには、年間売上目標をいくらにすれば良いか？出来れば借入は早く無くしたいので、5年返済で考えている。」と相談があった。以下の条件と、次ページの社長からヒアリングした内容を踏まえて、社長からの相談に対して説明して下さい。

- ・粗利益率はP.8の当期月平均(または累計)の数字
- ・想定固定費はP.8より直近3ヶ月の月平均数値を使用
- ・新設備導入前の単月借入金返済額はP.12から読み取る事
- ・借入金の返済期間はまだ決まっていないため、返済期間が10年・7年・5年だった場合でシミュレーションして下さい。その結果どのように必要売上高が変わるか、安全性という観点で借入の返済期間に対する考え方も併せて社長に説明して下さい。

問題の続きは次ページ 7

問1の続き

【社長からヒアリングした内容】

- ① 設備投資額は50.0百万円である。
- ② 新規売上の一部は前受金で貰えるようにするため、売上増加に伴う売上債権の増加は前受金でカバーできる。(P.15の資金別貸借対照表上の売上仕入資金の減少は無い)
- ③ 新設備を導入した場合、来期の減価償却費は50.0百万円とする。
なお、減価償却費は借入金の返済原資に出来る。(特別償却はしない)
- ④ 当期の着地売上見込は80.0百万円となる予定である。

問2. 社長より、「現在使用している工場は賃貸により借りているのだが、家賃も高いので購入しようと思う。」と相談があった。社長に聞くと、特に大家さんからそういう話があったり、近隣住民から苦情などがあるわけではないが、今後もずっと工場を使う予定なので、家賃の支払いを抑えるために購入したいとのことだが、購入した場合としなかった場合でどんな違いがあるか、社長からの相談にあなただったらどう答えますか？

【社長からのヒアリング内容】

- ① 物件金額は建物200百万円、土地100百万円の計300百万円である。**
 - ② 購入した場合は「地代家賃」の支払いは0円になる。**
 - ③ 購入する場合は金融機関より、返済期間20年、利率1.0%で3億円の借入が出来る。**
 - ④ 購入した場合は固定資産税は年間1百万円だけかかる。**
 - ⑤ 建物(工場)の減価償却費は毎年10百万円となる。**
- ※ 仲介手数料・不動産取得税はかからないものとする。**